

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	身体パフォーマンス (Body and Performance)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	舞台芸術の創作プロセスと創作環境		
担当者名 (Instructor)	横堀 応彦(YOKOBORI MASAHIKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2400	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2016年度以降1年次入学者対象科目		

授業の目標(Course Objectives)

これまで作り手は何を考えながら、どのように演劇を創作してきたのだろうか。舞台芸術の創作プロセスおよび創作環境に着目しながら、日本および海外の演劇／劇場をめぐる状況について講義する。

What did the creators of theater think about as they created, and how did they create theater works? We will provide lectures on the situation surrounding theaters in Japan and abroad, focusing on the creative process and environment of the performing arts.

授業の内容(Course Contents)

国内外で上演されている舞台芸術作品(劇場外での上演も含まれる)の記録映像を見ながら、作り手は何を考え、どのようなプロセスで舞台芸術を創作してきたのか歴史的・理論的に講義する。前半の授業(第1回～第7回)では歴史的に重要な作品および関連文献を取り上げ、舞台芸術を見るための枠組(フレーム)について考える。後半の授業(第9回～第14回)では、ここ数年間に国内外で上演された作品および関連文献を取り上げ、国内外における舞台芸術および創作環境について紹介し、現代における舞台芸術や劇場環境の在り方について考える。これまで劇場に足を運んだことのない学生をはじめ、舞台芸術に関する予備知識のない学生の受講を歓迎する。

なお授業形態は対面とオンラインの併用とし、記録映像を参照することが中心となる講義回についてはオンラインを(全14回中7回以下の範囲内で)併用して実施する予定である。

While watching videos of performing arts works performed in various cities in Japan and the world (including performances outside theaters), we will discuss what the creators thought about and what process they used to create the theater from historical and theoretical perspectives. In the first half of the course (1st to 7th classes), we will take up historically important works and related documents, and think about a framework for viewing performing arts. In the second half of the course (9th to 14th classes), we will take up works presented in Japan and abroad in the last few years and related documents, introduce performing arts and creative environments in Japan and the world, and consider the way of contemporary performing arts and the theatrical environment. We welcome students who have never been to the theater or have no background in the performing arts.

We will use face-to-face and online in this class. Online classes will be used (within seven or less out of 14 lectures) for lectures that students watch recorded videos.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 日本編1
3. 日本編2
4. 日本編3
5. 海外編1
6. 海外編2
7. 海外編3
8. インターミッション(映像鑑賞予定)
9. 日本編4
10. 日本編5
11. 日本編6
12. 海外編4
13. 海外編5
14. 海外編6

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業で紹介する文献を読み、実際の舞台を見に行くこと。その他、必要に応じて授業時に指示する。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

レポート試験 (Report Exam) (50%) / リアクションペーパーおよび授業内に指示した提出物 (50%)
欠席回数 (15 分以上の遅刻は欠席とみなす) が 5 回を超えたものについては成績評価の対象としない。なお授業内に指示する提出物には、授業内に指示する提出物には実際の観劇が必要となるものが含まれ、そのチケット代 (1 作品あたり 3000 円～目安) は自己負担となる。

テキスト (Textbooks)

特に指定しない。毎回プリントを配布する。

参考文献 (Readings)

随時授業時に指示する。

その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

オンラインは全 14 回中 7 回以下の範囲内で実施する。

注意事項 (Notice)